

～期首第59期 によせて～



風薫る五月となりました。当社も第二次中期経営計画(三ヶ年)の二年目に当たる、第59期をこの五月よりスタートさせていただいております。
この一年間は、正に新型コロナウイルスに翻弄されたと言っても過言ではありません。そして今なお、その渦中にはありますが、幸い外国製ワクチンの供給が遅まきながら開始され、早ければもしかしたら秋口以降には、この状況が改善されることが期待されます。また、国内の製薬メーカーからも年末あたりを視野に入れた、ワクチンの供給体制確立の発表もあったようで、ここに来て良いニュースも出始めてまいりました。
国内の景気に目を移しますと、飲食や宿泊関連産業等は依然として厳しい状況ではあるものの、物流を含めた果篭もり需要などは逆に旺盛であり、明暗が分かれる状態が継続しております。当社が位置する製造業におきましては、当社の例となりますが、当社独自の種々の要因もあり、前期の前半は対前年比で散々な結果でありました。然しながら後半は少しずつ盛り返し、最終的には対前年比で三割減の売上となりました。非常に厳しい状況であることには変わりはありませんが、お客様の中には売上計画の上方修正をされ始めたところもあり、ここに来て明るい兆しも見え始めて参りました。

今期も全社員で一生懸命、皆さまのお役に立てる会社組織づくりに努めてまいります。更なるご愛顧のほど、何とぞ宜しくお願い申し上げます。最後に第59期の経営社長方針を載せさせていただきます。

数値による経営目標管理をブラッシュアップさせ、緻密な営業戦略に結び付けて売上が達成すると共に、装置産業としての原点に立ち返り、投資から回収までのプロセス管理の下、より収益への実効性を帯びた設備メンテナンスコスト計画を強力に推進する。
また安全衛生と品質第一を全社員が深く心に刻み、お客様に喜ばれ、社会で必要とされる会社を目指そう。

島崎熱処理株式会社
代表取締役社長
嶋崎利行

初級熱処理塾に参加しました

当社では、新入社員として入社した後、4月に「初級熱処理塾」という熱処理について学ぶ座学研修に参加しますが、昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となったため、入社2年目となった今年度に参加しました。今年度は、通常の対面での受講と併せて、オンラインでの受講も可能とするハイブリット形式で行われました。10日間にわたって行われ、内容は、社会人としての心得から始まり、鉄鋼の性質や焼入れ性、様々な熱処理技術、検査技術、品質管理、機械工作、関係法令などについて学び、最終日には修了テストを行いました。入社2年目での参加だったため、聞いたことのある用語も多く、熱処理への知識を深めることが出来ました。今後も熱処理の勉強を続けていき、日々の仕事に活かしていくとともに、自分が担当する部署以外の熱処理への理解も深めていきたいと思っています。



ゴールデンウィークについて

ゴールデンウィークとは、例年4月末から5月始めにかけての祝日が多い期間ですが、今回はその歴史や祝日の意味についてまとめてみようと思いました。

ゴールデンウィークの名称は、元々1951年頃に映画会社の大映が作成した宣伝用語であり、和製英語です。映画業界用語だったことから、メディアでは「(春の)大型連休」という表現で統一しています。

ゴールデンウィーク期間の祝日には以下の日があり、これらは、「国民の祝日に関する法律」によって定められています。

日付	祝日	祝日の意味
4月29日	昭和の日	激動の日々を経て復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす日。
5月3日	憲法記念日	日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する日。
5月4日	みどりの日	自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ日。
5月5日	こどもの日	こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日。

*「いたす」とは、届かせる、至らせるという意味です。

4月29日は昭和天皇の誕生日であり、2005年の祝日法改正により、それまで「みどりの日」であったのが、「昭和の日」に改められました。それに伴い、「みどりの日」は5月4日に移動となりました。また、この法改正により、憲法記念日やみどりの日が日曜日と重なった場合、こどもの日の翌日が振り替え休日となりました。



編集後記

5月に入り、汗ばむような陽気の日が増えてきました。これから暑い日が増えてくると思うので、水分補給など熱中症対策をしっかり行っていききたいと思います。新型コロナの変異株が流行し、緊急事態宣言の延長や対象地域の追加、千葉県も蔓延防止等特別措置が延長されるなど、厳しい状況が続いております。昨年に引き続き今年も我慢のゴールデンウィークとなりました。1日でも早く終息して、気兼ねなく外出できる日が来ることを願っています。座学研修への参加のため、久々に東京都内へ行きましたが、久しぶりの都会の風景が刺激的でした。最近、YouTubeでよく合唱曲を聴いています。コロナが収まったら、また学生時代の仲間と合唱できたらいいなと思っています。(裏面担当:S-1G田村)